

貧しくさせられた国々の債務帳消しキャンペーンニュース

2008年1月

皆様、明けましておめでとうございます。ご無沙汰しています。

昨年はとても忙しくてニュースレターが大変遅くなってしまいご免なさい。

2007年のサミットではG8国々は債務に関する新しい事を決めませんでした。2007年には色々なニュースがありました。

* 中国が南米のガイアナに 1,530 万ドルの債務を帳消しにした。

* 第110回米国下院の金融サービス委員会に、ウォルターズ議員が、「2007年責任のある融資と拡大債務帳消しのためのジュビリー法」案を提出した。法案の趣旨説明では、「米国政府は低所得国に対して責任のある融資をすることと、米国政府と国際金融機関に対する債務の帳消しを拡大するため」と述べた。対象国は67カ国にのぼる。この法案は、重債務低所得国に対して、包括的な債務救済を法制化するためである。

* 米州開発銀行は、ガイアナの債務の3億5,500万ドルを帳消しにした。

* サントメ・プリンシペ民主共和国は債務のやく80%が帳消しされた。

* コンゴは、25億ドルの債務の80%の帳消しを受けた。

* リベリアは国際通過基金(IMF)、世銀、アフリカ開発銀行の15億ドルにのぼる多国間債務の帳消しの運びとなった。

* コートジボワール共和国では女子の半分余と男子の三分の一は学校に行けない。毎年の債務返済は\$500,000,000だ。

* マラウイ共和国ではエイズ患者が多く、医者や看護師が全然足りないのに、また母親の死亡数は

世界で2番目と高いのにも拘わらず、2006年\$75,000,000を返済した。

* ペルー政府は、債権国に25億ドルの債務を返済した。

2005年のサミットではG8は41ヶ国が帳消しを約束されましたが、19ヶ国の債務はまだ帳消しされていません。しかもIMF、世界銀行などは債務帳消しを望む貧しくさせられた国々には色々な条件を付けている。その結果としてザンビアは新しい教師を雇う事ができなかった。IMFは雇う事を許さなかった。教室の生徒の平均数は100人あまり、教師は9,000人も不足している状況だ。

* 世銀の理事会はフィリピンの道路建設プロジェクトに対する2億3200万ドルの融資を否決した。その理由は、世銀のスタッフが十分にこのプロジェクトの腐敗問題を調査していなかったことと、ゼーリック総裁に事前にブリーフィングをしていなかったということであった。

* フィリピンの議会では債務監査「根拠のない債務〔支払う義務のない債務〕の監査による予算支出の再検討」の動きが出ている。またエクアドルでも債務監査に乗り出している。その中で「不当な債務」(債権者側の都合で契約された債務や債務国の住民の利益を阻害した債務)と認定されたものは支払いを拒否すると宣言した。2005年には政府は予算の40%を債務返済に回し、保健医療と教育にはたった15%しか予算を使えなかった。実は日本はエクアドルの三番目に大きな債権国だ。

それぞれの国の債務返済が実際にその国の社会予算に比してどのくらいの割合か、一覧にしたサイトがあるのでご紹介します。

<http://www.oid-ido.org/> (英語、仏語、スペイン語で見ることが可能)

たとえば、世界銀行・IMFの帳消し対象となる「重債務貧困国」は、その国が抱える債務額や返済額と、年間の輸出収入を比べて決定される。だが、これだと債務がその国の国民に与えている影響は全く見えない。そこでIDOは、国民一人当たりの債務返済額、予算占める債務返済と教育費の比、予算に占める債務返済と医療費の比などで、債務が国民の生活に与えるインパクトを指標化した。

例えば、2002年のフィリピンは、債務額と輸出収入の比が124%であるため、債務帳消しの対象にならない（150%以上が重債務）。

しかし、IDOの資料を見ると、同年、債務返済は保健医療予算のなんと11倍、またエクアドルは2003年の債務返済額は医療予算の4.5倍、2001年の債務返済額は教育予算の9.1倍だったが、世銀のIMFの指標によるとエクアドルも重債務国には入らない。

はげたか基金

禿鷹基金とは貧しい国々などからお金を搾取する事だ。たとえば、ロマンニアはザンビアに\$40,000,000を貸したがザンビアが貧しいため、返済してもらおう事を諦めた。そこで、米国の億万長者マイケル・シーハンのドネガルという禿鷹基金がその債務をロマンニアから\$3,000,000で買った。ザンビアがドネガル基金に元に借りた金額を全部返済しなければならなくなった。貧しいため返済できないがドネガル基金はイギリスの裁判所でザンビアを訴えた。裁判所が下した判決は、ザンビアはドネガル基金に\$15,000,000を払わなければならない。この金額はザンビアが2006年に債務帳消しによって浮いた金額と同じで、帳消しのため浮いた金はなくなるということになる。このように禿鷹基金何にも肯定的な仕事しないで貧しい国々からお金を奪っている。

2004年に元工作員のジョン・パーキンズは「**経済的なヒットマン**（殺し屋）の告白」を書いた。米国は債務を利用してわざと貧しい国々を支配していると告発した。日本語版はやっと先月出版

された（東洋経済）。パーキンズはDemocracy Nowというテレビ番組に出て貧しくさせられた国々の債務返済は貧しくさせられた国々の健康予算あるいは教育予算を上回るし、毎年海外からもらう援助の2倍になると言っていた。現在貧しくさせられた国々の債務の全体金額は約\$3兆。パーキンズが出たDemocracy NowのDVD（日本語字幕）を買ったので見たい方に無料で貸し出中。（送料だけ頂きます。）

ジュビリー九州の大倉順子さんは**汚い債務**に関する本を翻訳した。著者のエリック・トゥーサンさんは12月に東京と横浜でエクアドルの債務の講演会を開催した。

お知らせ：来る1月26日（土）に世界社会フォーラム2008「もうひとつの世界のための1.26グローバルアクション」が東京の荒川で開催されます。私も「債務問題」、「生命特許」と2つのワークショップをしますのでぜひ御参加下さい。参加費無料

場所と時間

「債務問題」 10時～12時 荒川区立生涯学習センター ☎ 03-3802-2332

「特許問題」 15時30分～18時 時町屋文化センター ☎ 03-3802-7111

詳しい事は：<http://2008.jan26.jp/>

後記

この間環境ジャーナリスト田中優さんの温暖化の講演会を聴きました。世界の気候変動は貧しくされた国々の貧しい人々が被害を被っていて債務問題とも多く関わっています。別紙を御覧下さい。また講演後の質議応答で三菱東京UFJ銀行はクラスター爆弾を作る会社に融資していると聞いて考えさせられました。どうぞこれからも皆様の御協力を宜しくお願い致します。